



佐々木鯖江市長信任の再選

任期満了に伴う鯖江市長選が9月29日告示され、現職の佐々木勝久氏が前回の激戦から一転、無投票で再選を果たす。

鯖江市のため、市民のため必死で働く！

立候補締め切りの午後5時、ほかに立候補の届け出はなく、無投票当選が決まった佐々木氏が選挙事務所に姿を現すと、会場は大きな拍手に包まれた。佐々木氏は多くの支援者に「ありがとうございます」と握手、喜びを噛みしめる。

斉藤選対本部長が「立候補される方がいなかったのは、佐々木市長の4年間が認められ、これからの4年間も任すという市民の声だと思う。ありがとうございます」とお礼の言葉を述べた。お祝いに掛けた県選出国會議員、県議、JA県五連会長、県内首長、鯖江市議ら

が登壇。後援会顧問の山本建県議が「佐々木勝久2期目の当選、ありがとうございます。後援会長に代わり音頭をとらせていただく」とマイクを握り、全員で万歳三唱、会場は再び拍手と歓声にわいた。花束贈呈が次々と続き、佐々木市長があいさつに立つ。今回、思いもかけない無投票という形の当選になった。

昨年2月、最後の議会冒頭で出馬表明をした。6月議会にするのが通常だと思うが、1期4年いろんなことがあって賛成、反対、いろんな方と議論がしたい。それには時間、日数が必要だ。議会が始まる